

# 家読100選

山梨県教育委員会 しなやかな心の育成プロジェクト

小学校3・4年生向け

昨年度うちどくポップ展  
入賞作品

1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。
3. 家族で話し合って読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキスキップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の家読体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

うちどく.comより

**家族みんなで お家で読書**

毎月

第1日曜日（家庭の日）と第3日曜日（青少年をはぐくむ日）を、**家読デー**として、家族そろって読書をしましょう。

## ～新しい本のしょうかい～



むかしの本に出てくる家族のかたちはたいい同じだけど、げん代の家族のかたちは色々です。人数も、くらし方も、仕事の仕方も、休みの日の過ごし方も、みんなそれぞれちがうし、その時々でもちがう。多様化する家族のスタイルを、明るくあざやかなイラストで楽しくしょうかいしてくれる絵本です。

『いろいろな いろんな かぞくのほん』  
メアリ・ホフマン/文 ロス・アスキス/絵  
杉本詠美/訳  
少年写真新聞社



韮崎市出身の実業家である小林一三は、阪急電鉄や阪急百貨店、宝塚歌劇団、東宝など、たくさんの会社をおこし、成功させました。げんざいの私たちの生活に、大きなえいきょうをもたらした小林一三の業せきや生がいを、写真や親しみやすいイラストでしょうかいした、調べ学習本です。

『小林一三』  
伊井春樹/監修  
柴田こずえ/構成・文 青山友美/絵  
岩崎書店



一人ぐらしのバスの運転手、パイパーさんは、ひよんなことから動物たちとくらすことになりました。さびしくなったのですが、大家さんに動物たちを追い出すように言われてしまいます。動物たちの新しい家をさがしに旅に出たパイパーさんの、心温まる一さつです。

『パイパーさんのバス』  
エリナー・クライマー/作  
クルト・ヴィーゼ/絵 小宮由/訳  
徳間書店



ジャガイモを作り、二人の息子を大切に育てた母親。ところが息子たちは家を出て、兵士になってしまいます。かしこい母は、争いから息子たちをどう取りもどすのでしょうか。平和への願いをとどける一さつです。

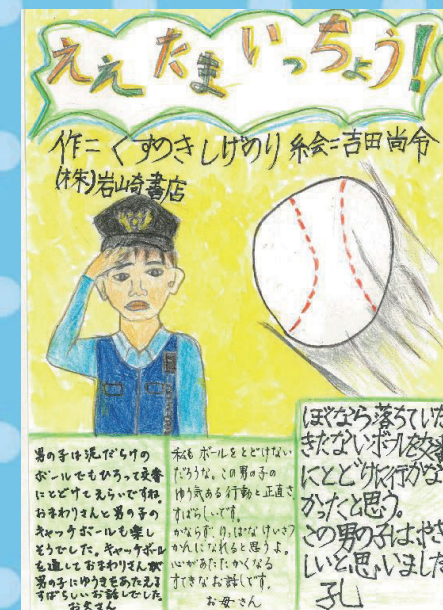
『かあちゃんのジャガイモばたけ』  
アニタ・ローベル/さく まつかわまゆみ/やく  
評論社



【一緒に読みませんか部門】  
優秀賞  
「かたあしたちょうのエルフ」  
（小野木 学/文・絵 ポプラ社）  
甲府市立山城小学校 村松 和海さん



【一緒に読みませんか部門】  
優秀賞  
「まあちゃんのながいかみ」  
（高楼 方子/作 福音館書店）  
市川三郷町立上野小学校 小野 菜々子さん



【家族で読んだよ部門】  
優秀賞  
「ええたまいっちょう！」  
（くすのきしげのり/作 吉田 尚令/絵 岩崎書店）  
北杜市立高根西小学校 古屋 孔さん

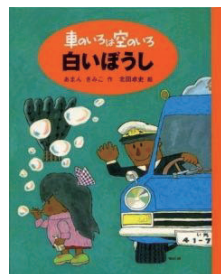


【家族で読んだよ部門】  
優秀賞  
「おしゃべりなたまごやき」  
（寺村輝夫/作 長新太/画 福音館書店）  
南アルプス市立白根飯野小学校  
杉町 優心さん 杉町 あのんさん





←読んだら、好きな色でぬってね！



- ①車のいろは空のいろ 白いぼうし
- ②あまんきみこ／作 北田卓史／絵
- ③ポプラ社 2000年
- ④子どものときに読んだことのあるお家の方も多いいのでは。今度はお子さまと一緒に楽しみませんか。

### リストの 見方です

- ←①作品名です。
- ←②作者名です。
- ←③出版社名、発行年です。
- ←④家読をするときのヒントです。ご家族で、本を読むときの参考にしてください！



### ちょっとだけ弟だった 幸太のこと

東多江子／作 宮尾和孝／絵  
そうえん社 2010年  
捨て犬の預かりボランティアを始めた家族の物語。生き物を飼う責任について考えるきっかけになるかも。



### ねこさんかぞくの みどりのカーテン

津田直美／作・絵  
ブロンズ新社 2009年  
作者一家が実際に育てた緑のカーテン。その様子を描いた絵本なので、我が家も挑戦！という家庭にぴったり。



### おじいちゃんが おばけになったわけ

キム・フォップス・オーカリン／文  
ポリアカ／絵 菱木晃子／訳  
あすなろ書房 2005年  
大好きな人との悲しい別れ…。でも、あなたはこんなに愛されていたんだよ、伝えてあげたいときに。



### ポリーと はらぺこオオカミ

キャサリン・ストー／作  
掛川恭子／訳  
岩波書店 1979年  
昔話をもとにした楽しいお話集。お子さまの知らない昔話があったら、そのお話も教えてあげてくださいね。



### 「和」の行事えほん (全2巻)

高野紀子／作  
あすなろ書房 2006～2007年  
四季折々にお子さまと一緒にながめ、楽しみながら日本の行事を伝えていきたいですね。



### おひさまいろのきもの

広野多珂子／作・絵  
福音館書店 2007年  
お母さんの立場で読んで、子どもの立場で読んで、きっと心が温かくなっていくと思います。



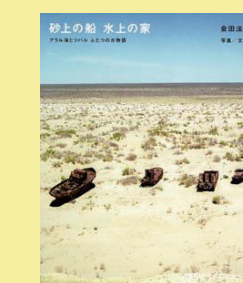
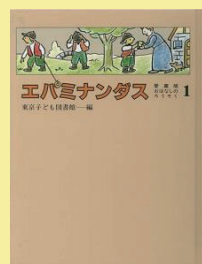
### ウェン王子とトラ

チェン・ジャンホン／作・絵  
平岡敦／訳  
徳間書店 2007年  
二人の母（お后とトラ）と王子の絆から、「愛」は憎しみや暴力に勝ることに気付いてくれたら…。



### エバミナンダス

東京子ども図書館／編  
東京子ども図書館 1997年  
「耳で聞く」楽しさが味わえるお話を集めた本です。ぜひ、読み聞かせをしてあげてほしいと思います。



### 砂上の船 水上の家

会田法行／写真・文  
ポプラ社 2010年  
時には環境問題についてお子さまと話をしてみませんか。写真が静かに、でも、力強く語りかけてきます。



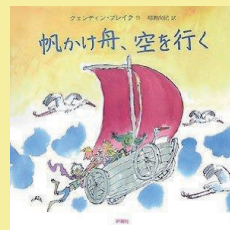
### 1つぶのおこめ

デミ／作  
さくまゆみこ／訳  
光村教育図書 2009年  
毎日、倍々に増えていくお米の数。だんだん大きくなっていく数字と一緒に数えながら読んであげてください。



### 帆かけ舟、空を行く

ケンティン・ブレイク／作  
柳瀬尚紀／訳  
評論社 2007年  
最後に、帆かけ舟はどこに向かったのでしょうか…。それぞれが自分の思いを話し合ってみませんか。



### 赤ちゃんのはなし

マリ・ホル・エツ／文・絵  
坪井郁美／訳  
福音館書店 1982年  
きょうだいが生まれてくるときなどに、ぜひ。家族と一緒に、命の不思議と大切さを感じてくださいね。



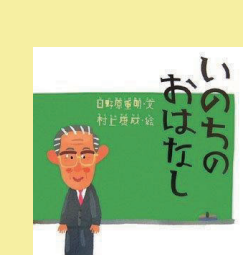
### 旅の絵本 (1~8)

安野光雅／著  
福音館書店 1977～2013年  
風景の中に散りばめられた史跡やお話の数々。おとなが案内してあげると、きっと旅が一段と楽しくなります。



### 富士山大ばくはつ

かこさとし／作  
小峰書店 1999年  
せっかく山梨に住んでいるのですもの。世界文化遺産の富士山のこと、もっとみんなで調べてみませんか。



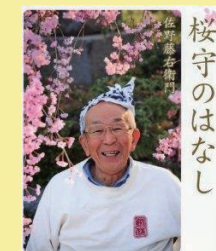
### いのちのおはなし

日野原重明／文  
村上康成／絵  
講談社 2007年  
「命を大切に生きてほしい。」そんな親の願いを、この絵本でお子さまに伝えてみませんか。



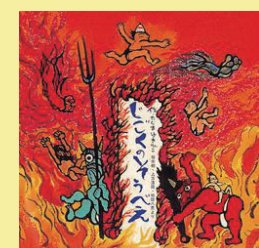
### 桜守のはなし

佐野藤右衛門／作  
講談社 2012年  
春はもちろんですが、きっとこれからは夏や秋のお散歩のときも、桜に目がいくようになるのでは。



### じごくのそうべえ

田島征彦／作  
童心社 1978年  
おとなも童心に戻って絵本を楽しんでみませんか。きっと、みんなで大笑いできると思いますよ。



### 干し柿

西村豊／写真・文  
あかね書房 2006年  
山梨の特産品の干し柿。秋には家族みんなで干し柿づくりを楽しんでみてはいかがでしょう。



作品	作／絵／訳	発行年	出版社
セミの一生	橋本治二／文 佐藤有恒／写真	2005	あかね書房
やかまし村の子どもたち	アスリッド・リッドグレン／作 大塚勇三／訳	1965	岩波書店
オオカミの森 旭山動物園物語	小菅正夫／文 あべ弘士／絵	2009	角川書店
博物館の一日	いわた慎二郎／作・絵	2012	講談社
子どもに語るアラビアンナイト	西尾哲夫／訳・再話 茨木啓子／再話	2011	こぐま社
みんなあかちゃんだった	鈴木まもる／作	2000	小峰書店
吉四六さん	小澤昔ばなし大学再話研究会／再話 小澤俊夫／監修 二俣英五郎／絵	2011	小峰書店
プレゼント	おとだけひろただ／ぶん さわたしき／え	2000	中央法規出版
3びきのかわいいオオカミ	ユージ・トリビザス／文 ルソ・カセパリー／絵 こだまともこ／訳	1994	富山房
わずれられないおくりもの	スザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／やく	1986	評論社
ドングリ山のやまんばあさん	富安陽子／作 大島妙子／絵	2002	理論社

このリストには、「子どもと一緒に読みたい本、友だちや家族に読んでほしい本」について、山梨県内の方々からご応募いただいた作品ものをせています。